

第 11 期定時株主総会議事録（概要）

2021 年 6 月 21 日

第一生命ホールディングス株式会社

第 11 期定時株主総会議事録

1. 日時 2021 年 6 月 21 日（月曜日） 午後 1 時 30 分
1. 場所 東京都港区虎ノ門二丁目 10 番 4 号
The Okura Tokyo オークラ プレステージタワー
1 階 平安の間
1. 議決権を行使することができる株主数
735,481 名
1. 議決権を行使することができる株主の議決権の数
11,140,360 個
1. 出席株主数（議決権行使書及び電磁的方法により議決権を行使した株主を含み、無効分を除く最低有効数による。）
164,571 名
1. 出席株主の有する議決権の数（議決権行使書及び電磁的方法による議決権行使を含み、無効分を除く最低有効数による。）
8,957,064 個
1. 株主総会の目的事項
- 報告事項 2020 年度（2020 年 4 月 1 日から 2021 年 3 月 31 日まで）
事業報告、連結計算書類、計算書類並びに会計監査人及び監査等委員会の連結計算書類監査結果報告の件
- 決議事項
- 第 1 号議案 剰余金の処分の件
- 第 2 号議案 取締役（監査等委員である取締役を除く。）11 名選任の件

1. 議事の経過の要領及びその結果

(1) 定刻、代表取締役社長稲垣精二は、定款の規定に基づき議長となり、開会を宣した。

取締役露木繁夫、取締役堤悟、取締役櫻井謙二、取締役（常勤監査等委員）近藤総一は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため東京都港区虎ノ門二丁目10番4号 The Okura Tokyo オークラ プレステージタワー 2階 オーチャードIより、テレビ会議にて出席した。

次に議長は、テレビ会議により出席者の音声及び映像が即時に他の出席者に伝わり、出席者が一堂に会するのと同等に適時的確な意見表明が互いにできる状態となっていることを確認した上で、議事に入った。

次に議長は、一連の金銭不正事案に対するお詫びを述べた後、金銭不正行為の撲滅に向けた体制の整備・充実に取り組む旨を述べた。

次に議長は、本総会の目的事項は、別添招集ご通知8頁に記載のとおりである旨を述べた。

次に議長は、本総会の議案についてはすべて定足数の要件を満たしており、適法に決議できる旨を述べた。

次に議長は、議事の進め方について、株主の発言は報告事項の報告及び決議事項である各議案の内容説明後に受けた旨を述べ、これを議場に諮ったところ、過半数の賛同が得られた。

(2) 議長は、新型コロナウイルス感染拡大を防止する観点から、別添招集ご通知に記載の事項に関する説明は割愛したい旨、株主の発言は一人につき1回あたり1問としたい旨を述べた。

(3) 議長は、事業報告及び議案の審議に入る前に、会計監査人による連結計算書類の監査結果として適正意見を受けている旨述べた上で、その他の監査結果も含めて監査等委員会による監査報告を求めたところ、取締役（上席常勤監査等委員）長濱守信が、監査等委員会を代表して、2020年度に係る監査等委員会の監査の方法及び結果は、別添招集ご通知67頁及び68頁（監査等委員会の監査報告書謄本）に記載のとおりである旨を報告した。

次に取締役（上席常勤監査等委員）長濱守信は、会計に関する業務について、別添招集ご通知63頁から66頁の連結計算書類等に関する会計監査人の監査の方法及び結果が相当である旨、会計以外の業務について、法令・定款に適合している旨、本総会に提出される議案及び書類について、いずれも法令・定款に適合している旨を報告した。

次に取締役（上席常勤監査等委員）長濱守信は、別添招集ご通知24頁に記載のとおり、監査等委員以外の取締役の選任及びその報酬について、監査等委員会としてはいずれも妥当であると判断している旨を述べた。

次に取締役（上席常勤監査等委員）長濱守信は、金銭不正行為の撲滅に向けた体制の整備・企業風土改善への取り組み状況を注視し、内部統制システム強

化に向けた取組みを監査していく旨を述べた。

- (4) 議長は、本総会の目的事項に従い報告事項の報告を行う旨を述べ、別添招集ご通知 33 頁から 68 頁に記載の 2020 年度 (2020 年 4 月 1 日から 2021 年 3 月 31 日まで) 事業報告、連結計算書類及び計算書類の内容につき、新中期経営計画「Re-connect2023」の成長戦略等を中心に、映像も交えながら説明した。
- (5) 議長は、決議事項である第 1 号議案及び第 2 号議案の各議案を一括して上程する旨、各議案の内容は別添招集ご通知 13 頁から 24 頁に記載のとおりである旨を述べた。
- (6) 議長は、本総会に先立って寄せられた事前質問に対して一括して回答する旨を述べた上で、金銭の不正取得事案、取締役会の構成及び株主還元の方針に関して説明した。
- (7) 議長は、質問及び動議を含めたすべての発言を一括して受け、その後議案につき採決を行う旨を説明した後に、株主からの発言を受ける旨を告げたところ、別紙のとおり、質疑応答等がなされた。
- (8) 議長は、既に十分に審議を尽くしたと考えるため、これで質疑を終了し、議案の採決に入りたい旨を議場に諮ったところ、過半数の賛同が得られたので、議案の採決に入る旨を告げた。
- まず議長は、第 1 号議案「剰余金の処分の件」について、賛否を議場に諮ったところ、議決権行使書及び電磁的方法による議決権行使を含め出席株主の議決権の過半数の賛成を得たため、原案どおり承認可決された。
- よって議長は、第 1 号議案は原案どおり承認可決された旨を宣した。
- 次に議長は、第 2 号議案「取締役 (監査等委員である取締役を除く。) 11 名選任の件」について、賛否を議場に諮ったところ、議決権行使書及び電磁的方法による議決権行使を含め出席株主の議決権の過半数の賛成を得たため、原案どおり承認可決された。
- よって議長は、第 2 号議案は原案どおり承認可決された旨を宣した。
- (9) テレビ会議に終始異状なく審議を終了したため、議長は、以上をもって本総会の目的事項はすべて終了した旨を告げて、午後 3 時 17 分、本総会の閉会を宣した。

1. 株主総会に出席した役員

取締役会長	渡邊 光一郎
議長 代表取締役社長	稲垣 精二
代表取締役副会長執行役員	寺本 秀雄
代表取締役専務執行役員	菊田 徹也
取締役	露木 繁夫
取締役	堤 悟
取締役	櫻井 謙二
取締役	ジョージ・オルコット
取締役	前田 幸一
取締役	井上 由里子
取締役	新貝 康司
取締役(上席常勤監査等委員)	長濱 守信
取締役(常勤監査等委員)	近藤 総一
取締役(監査等委員)	佐藤 りえ子
取締役(監査等委員)	朱 殷卿
取締役(監査等委員)	増田 宏一

(注) ジョージ・オルコット氏の在留カード上の氏名は「OLCOTT GEORGE CUNNINGHAM」、佐藤りえ子氏の戸籍上の氏名は「鎌田りえ子」、朱殷卿氏の戸籍上の氏名は「朱ウンギョン」。

1. 議事録の作成に係る職務を行った取締役

代表取締役社長 稲垣 精二

上記の議事を証するため、会社法第318条に基づき本議事録を作成する。

2021年6月21日

東京都千代田区有楽町一丁目13番1号
第一生命ホールディングス株式会社
代表取締役社長 稲垣 精二

質疑応答時の要旨は次のとおり。

質問要旨
株主 1 ①金銭不正取得事案の中で語られた金利優遇制度の有無
株主 2 ②金銭不正取得事案の再発防止策である経営品質刷新プロジェクトの具体的な取組み及び他の子会社における類似案件の有無
株主 3 ③当社投資戦略の具体的な取組み
株主 4 ④加入契約の老後設計資金である契約者配当の状況及び契約者貸付金利に対する考え方
株主 5 ⑤前中期経営計画「CONNECT 2020」においてグループ新契約価値が目標未達となった理由及び今後の方針
株主 6 ⑥株主アンケートのデジタル化に対する考え方
株主 7 ⑦金銭不正取得事案の再発防止取組みにかかった費用 ⑧今期営業目標を設定しない背景
株主 8 ⑨新型コロナウイルスに感染した契約者への対応 ⑩金銭不正取得事案に関する会長の見解
株主 9 ⑪上場企業に対する投資スタンス
株主 10 ⑫生命保険に関する書籍に対する感想及び評価
株主 11 ⑬営業目標を設定せずに将来的な利益目標を達成するための取組み
株主 12 ⑭今後新たに金銭不正取得事案の類似事案が発生した場合の対応

以上